

国際交流サロン

1月の「世界の民話と昔話」はイエメンの『オマールのコーヒー伝説』です。さあ、世界のことを知って交流を始めましょう。

国 イエメン
民話/昔話 オマールのコーヒー伝説
ストーリー 昔、イエメンの高僧の若い弟子シェーク・オマールは、イエメンのモカマタリの王女を祈禱によって病気から救います。ところが、王女に対し恋心を覚えたことから、王は怒りオマールをモカマタリから追放します。

オマールが食べるものもなく山の中を歩いていると、美しい小鳥がさえずりながら赤い実をついばんでいるのが目に入りました。そこでオマールは赤い実を摘み、スープをつくり飲んでみました。すると体も心も生き生きとして、元気が出たのでした。

それから、オマールはこのスープの効用で病気の人々を救いました。それを伝え聞いた王様は罪を許しモカマタリに戻ることができました。その後は、コーヒーを発見した聖者として崇拝されたということです。

話が伝わった経緯 17世紀になると、イギリスへのコーヒー貿易が盛んになりました。イエメンのモカマタリが世界最大のコーヒーの積み出し港となり、オマールのコーヒー伝説がコーヒー豆と一緒にヨーロッパに伝わって広がりました。

【問合せ】 一般社団法人 笠間市国際交流協会
 Tel.090-2761-8711 (木村 美枝子)

.....2月の国際交流情報.....

ドイツラー市とエチオピアの子どもの絵の展覧会

日時：2月2日(火)～11日(木・祝)
 午前9時30分～午後5時 ※月曜休館
 場所：笠間の家 ギャラリー (笠間市下市毛79-9)

..... 会期中のイベント ※参加無料

ドイツとエチオピアのお話会&外国文化紹介

ドイツの昔話とエチオピアの民話をドイツ語と英語で読み聞かせをします。

日時：2月11日(木・祝)
 午前10時30分～11時30分

対象：2歳から小学生までの親子

申込方法：市民活動課(内線133)まで電話でお申し込みください。

主催：(一社)笠間市国際交流協会、笠間市

☆2月の日本語教室の開講日

2月6日(土)・13日(土)・20日(土) (友部公民館 午前10時～)



外国人相談も受け付けています。

◀エチオピア特命全権大使 (右から2番目) 第10回かさま陶芸の里 ハーフマラソンにて

市長コラム

地域の教育力

先月、市内17校の小中学校校長の皆さんと直接意見交換を行いました。全学校に共通する課題や学校ごとの課題、悩みなど、学校の現状についてさまざまな話を聞くことができ、学校・家庭・地域の状況の変化により、学校教育をめぐる環境が急激に変わってきていることを実感しました。

施設整備や学校運営に関すること、保護者からの多様な意見への対応等に苦慮している学校現場の生の声を聴いて、先生方のご苦労、

対応の難しさを強く感じました。

学校については、自分の子どもや孫が通学している間は、親や家族の立場で関心を持ちますが、卒業すると縁が切れ、関心は薄くなります。

学校では、地域には伝わらない多くの課題があります。その課題を乗り越え、解決していくには、学校の努力も必要ではありませんが、保護者はもちろんのこと、常に住民が学校に関心を持ち、地域の子どもたちに目を向けて、地域全体で学校を支えていくことが必要だと考えます。

そのためには、地域と学校との交流の場を深めていくことが大切であり、地域の教育力に期待するところが大きいと思います。市内の子どもたちが優しさや思いやりを持って、強くたくましく生きられる人間として健やかに成長していけるように、今年はいきまなで学校を応援していきます。

笠間市長

山口伸樹

